

# 市民委員会 資料

## 〔港湾局〕

### 1 : 事業概要

- ・ 事業概要

- ・ 別紙 平成 26 年度の主な事業及び予算

### 2 : 港湾局組織図 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

### 3 : 港湾局理事者名簿

An aerial photograph of Kawasaki City, Japan, showing a dense urban area with a river winding through it. In the far distance, the snow-capped peak of Mount Fuji is visible against a clear blue sky. The overall scene is captured from a high angle, providing a comprehensive view of the city's layout and its proximity to the coast.

# 事業概要

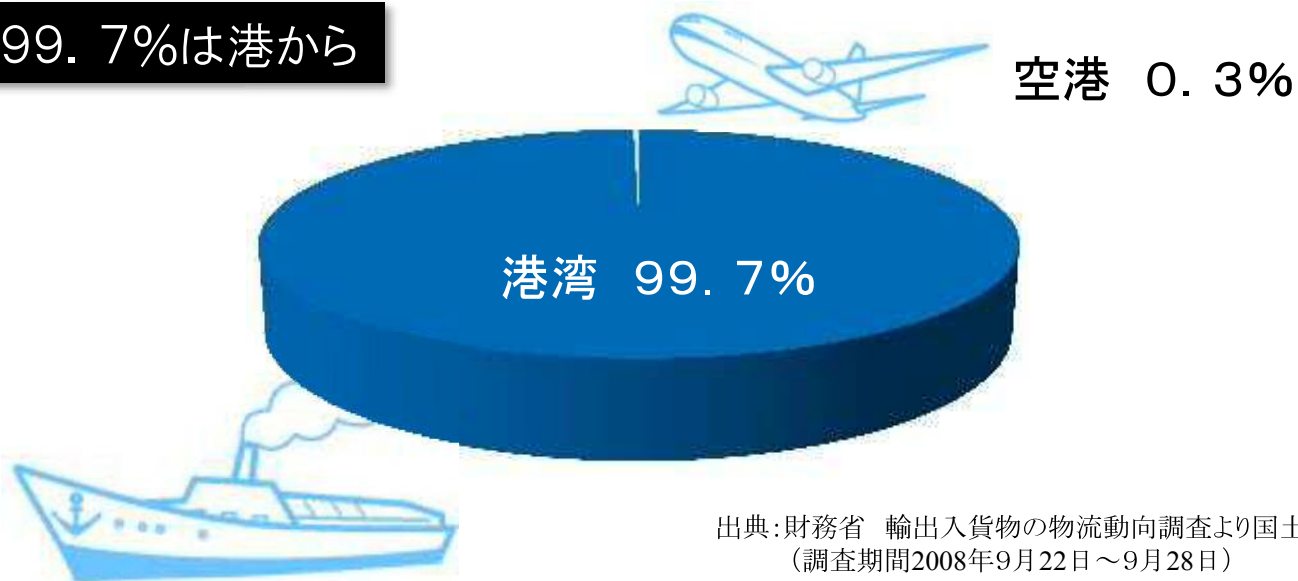
平成26年 4月

川崎市 港湾局

# 港の役割

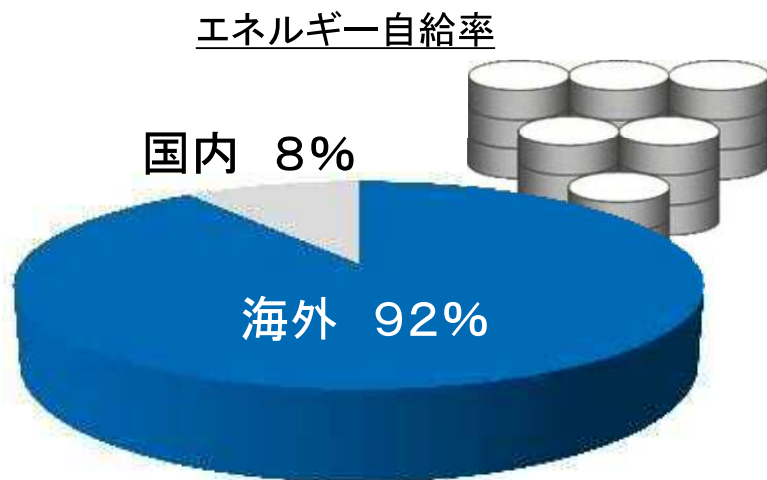


輸出入貨物の99.7%は港から



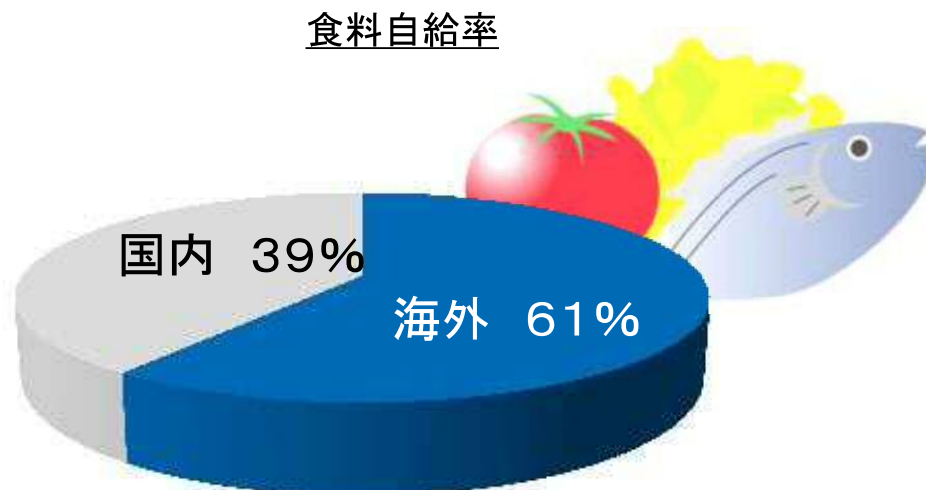
出典:財務省 輸出入貨物の物流動向調査より国土交通省港湾局計画課作成  
(調査期間2008年9月22日~9月28日)  
※重量ベース

エネルギーの92%が海外から



出典:資源エネルギー庁 「2012年度エネルギーバランス表(速報)」 ※熱量ベース

食料の60%は海外から



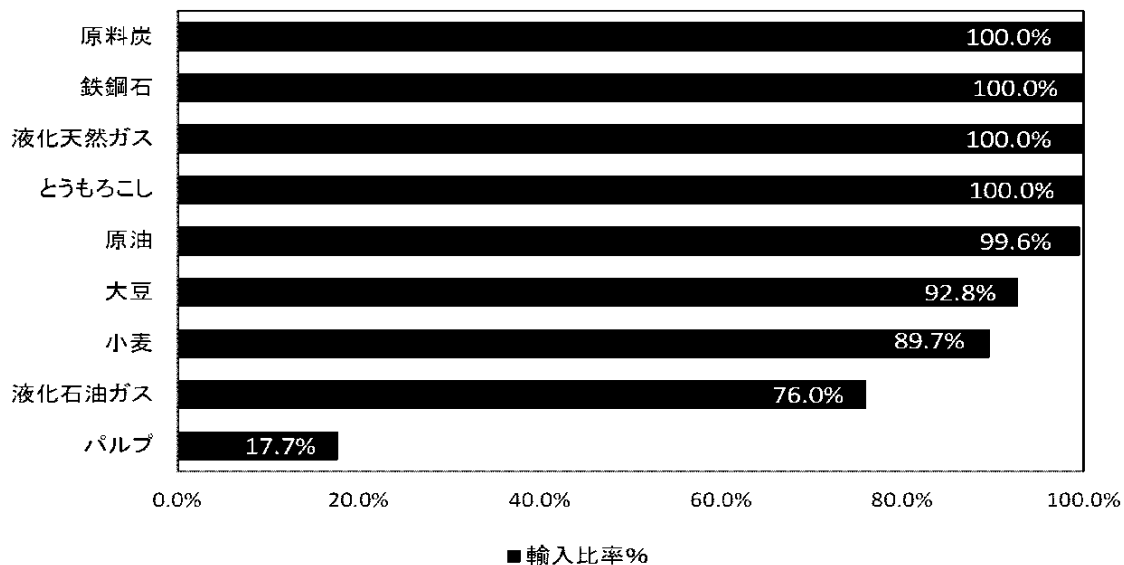
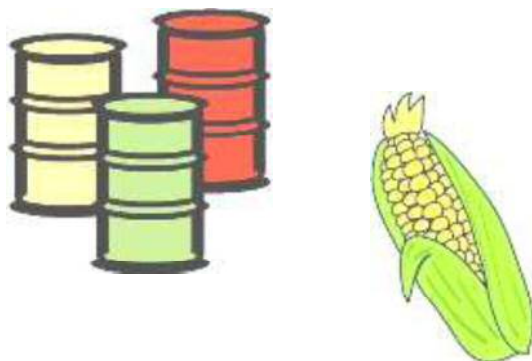
出典:農林水産省 「食料需給表(平成24年度版)概要」 ※熱量ベース

# 港の役割



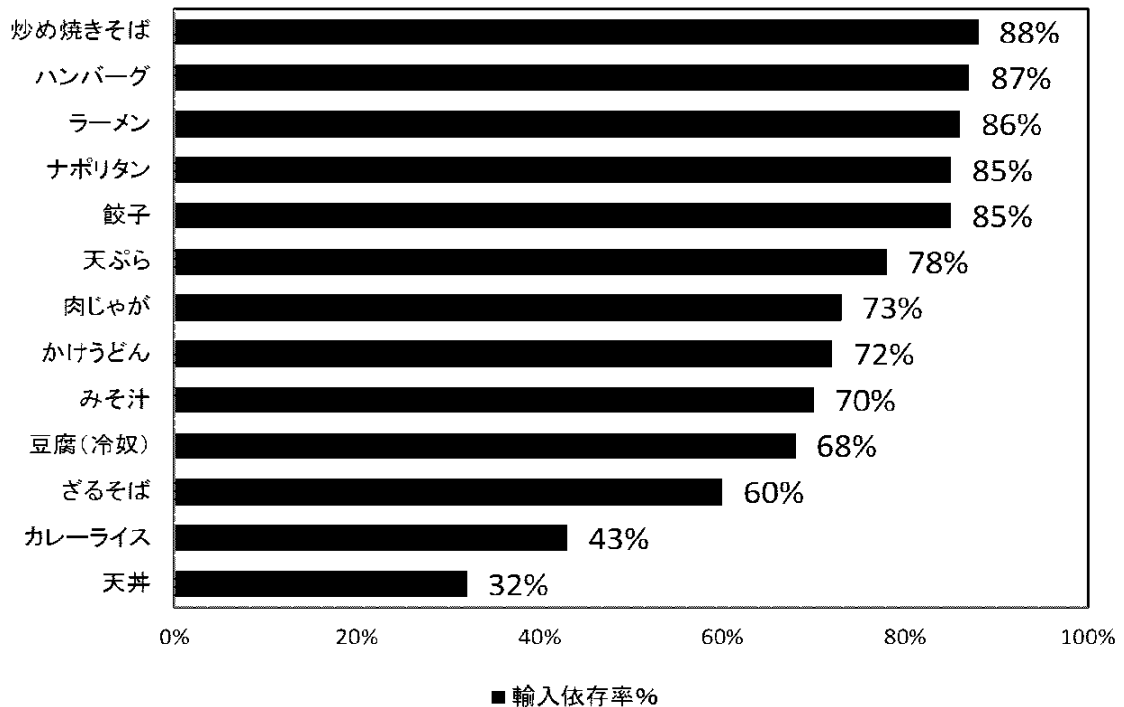
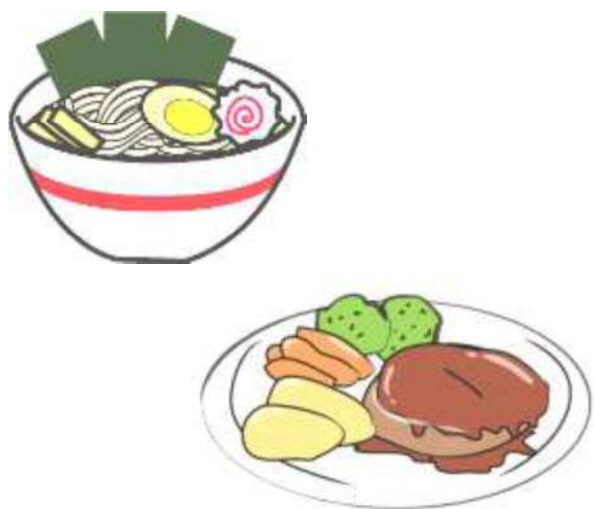
## 海外に依存する原材料

主要商品の輸入比率（重量ベース）



## 日常生活と港湾

献立の素材が輸入されている割合



出典：経済産業省「エネルギーバランス表(2011年度)  
農林水産省「料理自給率計算ソフト(平成24年度)より港湾局にて作成」

# 日本の港湾



区分	総数	港湾管理者					都道府県 知事
		都道府県	市町村	港務局	一部事務組合	計	
国際戦略港湾	5	1	4	0	0	5	—
国際拠点港湾	18	11	4	0	3	18	—
重要港湾	102	82	16	1	3	102	—
（うち避難港）	(35)	(29)	(6)	(0)	(0)	(35)	—
地方港湾	808	504	304	0	0	808	—
（うち避難港）	(35)	(29)	(6)	(0)	(0)	(35)	—
計	933	598	328	1	6	933	—
56条港湾	61	—	—	—	—	—	61
合計	994	598	328	1	6	933	61

平成25年4月1日現在

(注) 東京都の洞輪沢港は避難港指定を受けているが、管理者未設定であり、かつ56条港湾ではないので本表より除く。  
 (注) 漁港は含まない



**川崎港は  
国際戦略港湾**

- 国際戦略港湾 (5港)
- 国際拠点港湾 (18港)
- 重要港湾 (103港)

**【国際戦略港湾とは】**  
 国際戦略港湾は、国際競争力の強化を重点的に図る必要がある港湾で、国内では、東京港、横浜港、川崎港、大阪港、神戸港の5港が指定されています。

# 川崎港の位置

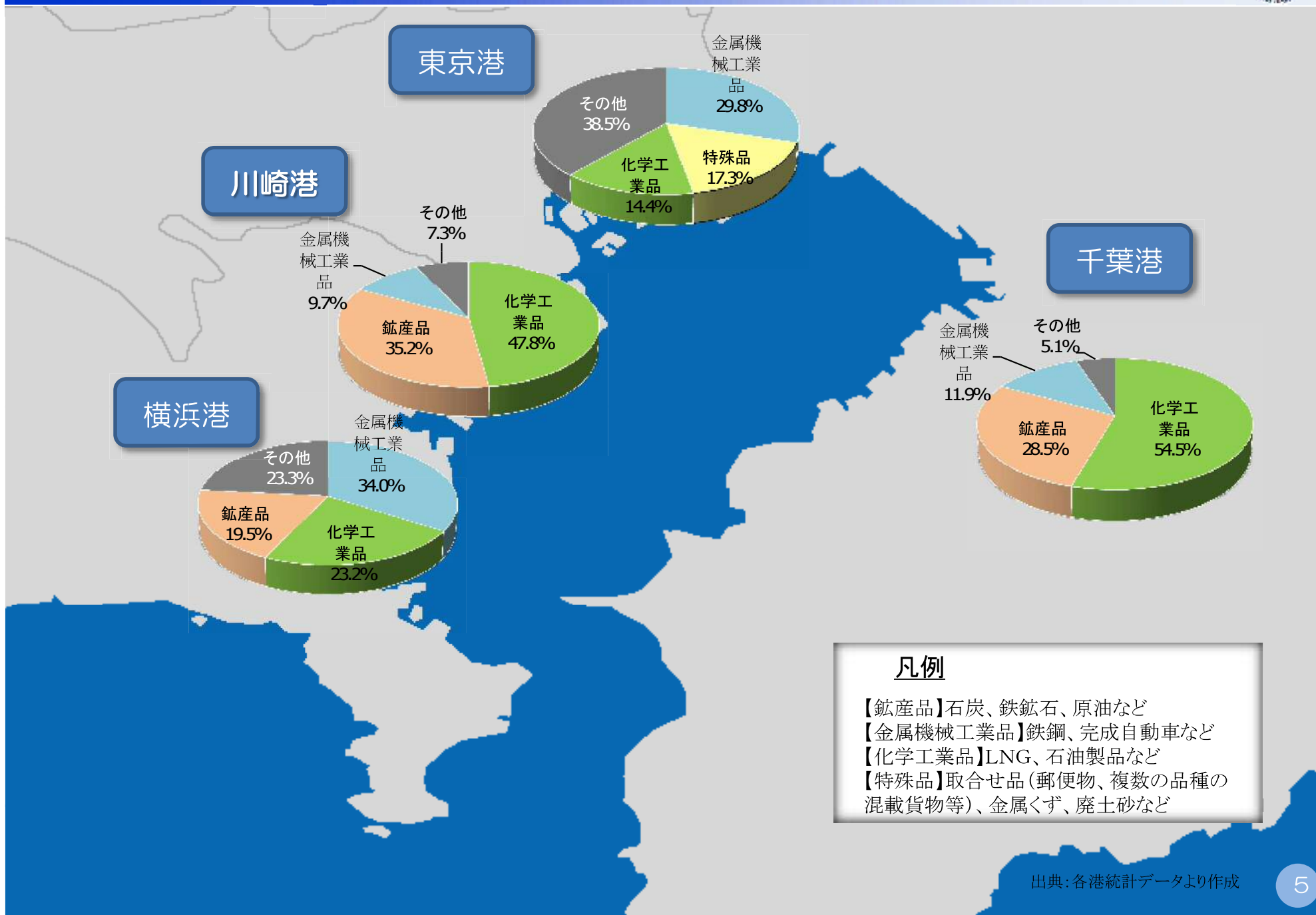


■ 主な高速道路（インターチェンジ間）の距離

起点インターチェンジ	終点インターチェンジ	距離
東扇島(川崎港)から	宇都宮(栃木県)まで	158.2km
	前橋(群馬県)まで	147.2km
	水戸(茨城県)まで	129.2km
	甲府昭和(山梨県)まで	152.7km
	湾岸千葉(千葉県)まで	74.3km
	大井南(東京都)まで	14.3km
	本牧ふ頭(神奈川県)まで	11.1km

- 高速道路  
Expressway
- 環状線  
Ring road
- 県境  
Prefectural Boundary

# 川崎港の特色



## 凡例

- 【鉄産品】石炭、鉄鉱石、原油など
- 【金属機械工業品】鉄鋼、完成自動車など
- 【化学工業品】LNG、石油製品など
- 【特殊品】取合せ品(郵便物、複数の品種の混載貨物等)、金属くず、廃土砂など

# 川崎港の取扱貨物



## 港湾取扱貨物量ランキング(2012年上位20港)

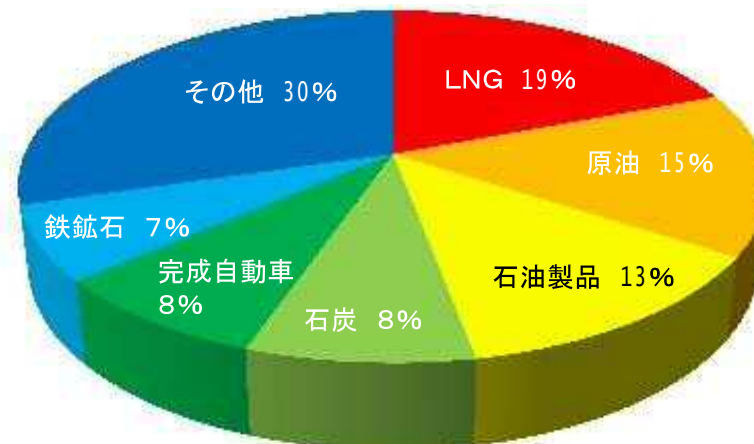
(単位:千トン)

順位	港名称	合計	輸出	輸入	内貿
1	名古屋港	202,556	54,827	84,672	63,057
2	千葉港	152,036	8,212	81,870	61,954
3	横浜港	121,388	33,127	44,776	43,485
4	苫小牧港	99,407	872	16,090	82,445
5	北九州港	98,841	6,950	25,673	66,218
6	神戸港*	87,205	22,241	26,788	38,176
7	大阪港	86,403	8,708	27,501	50,193
8	川崎港	83,292	8,651	47,001	27,640
9	東京港	82,786	13,147	34,253	35,387
10	水島港**	82,120	8,847	43,059	30,214
11	堺泉北港**	74,428	4,357	27,871	42,200
12	四日市港**	70,350	1,350	29,350	19,465
13	徳山下松山港	69,800	1,800	29,800	29,800
14	徳山下松山港	67,292	1,292	17,292	17,292
15	徳山下松山港**	66,161	1,161	29,580	29,580
16	徳山下松山港	34,672	1,174	17,929	15,569
17	徳山下松山港	32,354	7,046	11,252	14,056
18	徳山下松山港**	31,661	996	18,413	12,251
19	徳山下松山港*	31,094	1,450	17,556	12,088
20	清水港	15,563	3,753	6,248	5,562

川崎港の取扱貨物量は  
全国第8位

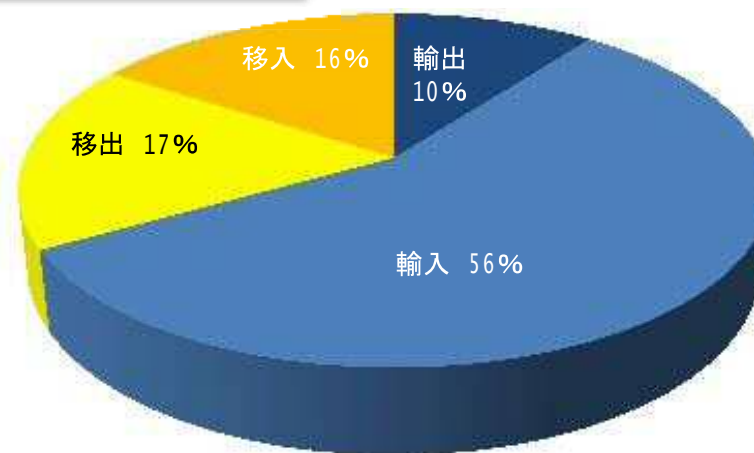
※港名に\*を伴うものは速報値、\*\*を伴うものは国土交通省により港湾統計(月報)として公表された数値を集計したものです。

## 取扱貨物の種類



出典:川崎港統計年報(2012年)

## 出入貨物の割合



出典:川崎港統計年報(2012年)

## 貿易額

### 輸出額4年連続の増加・輸入額2年ぶりの増加

輸出額 1兆6,549億76百万円 対前年比 128.3%  
 輸入額 3兆1,518億84百万円 対前年比 123.8%

出典:川崎税関支署「川崎港貿易概況」



# 川崎港と世界のむすびつき



## 輸出

(単位:千トン、%)

品種	2012年		主な輸出先		
	数量	構成比	1	2	3
完成自動車	4,325	50.0	アメリカ (46.6%)	アラブ首長国 (10.2%)	シンガポール (8.7%)
金属くず	1,029	11.9	韓国 (60.1%)	中国 (28.6%)	ベトナム (6.1%)
化学薬品	924	10.7	中国 (57.3%)	韓国 (21.0%)	中国(台湾) (15.6%)
重油	913	10.6	中国(香港) (43.6%)	中国 (26.5%)	シンガポール (19.4%)
石油製品	797	9.2	韓国 (20.5%)	オーストラリア (19.6%)	シンガポール (16.4%)
その他	663	7.7	-	-	-
総合計	8,651	100.0			

## 輸入

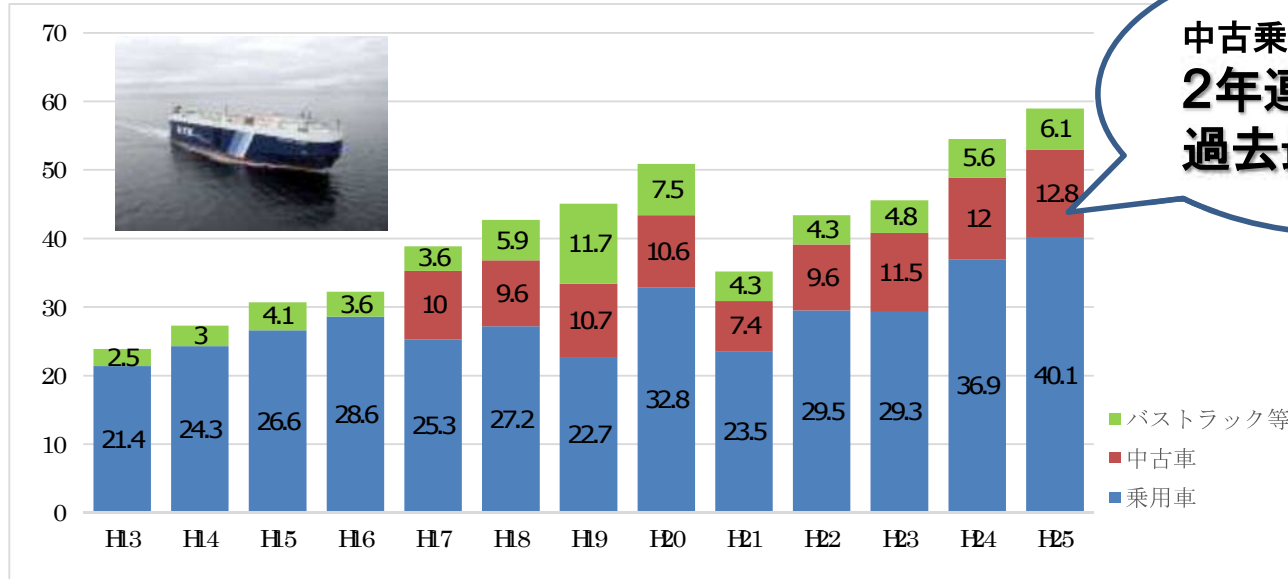
(単位:千トン、%)

品種	2012年		主な輸入先		
	数量	構成比	1	2	3
L N G	15,968	34.0	アラブ首長国 (35.6%)	オマーン (15.5%)	ナイジェリア (10.8%)
原油	12,520	26.6	アラブ首長国 (28.8%)	サウジアラビア (21.7%)	カタール (21.3%)
石炭	5,685	12.1	オーストラリア (64.9%)	アメリカ (9.4%)	インドネシア (9.3%)
鉄鉱石	5,661	12.0	オーストラリア (47.4%)	ブラジル (32.5%)	フィリピン (8.0%)
石油製品	2,255	4.8	韓国 (38.6%)	インド (21.0%)	アラブ首長国 (9.8%)
その他	4,912	10.5	-	-	-
総合計	47,001	100.0			

# 自動車輸出に強みのある川崎港



■川崎港における自動車輸出台数の推移（平成13～25年）（単位：万台）



中古乗用車の輸出は  
2年連続で  
過去最高を更新



千鳥町公共ふ頭（中古車のストックヤード）



東扇島公共ふ頭（岸壁からの自動車輸出）

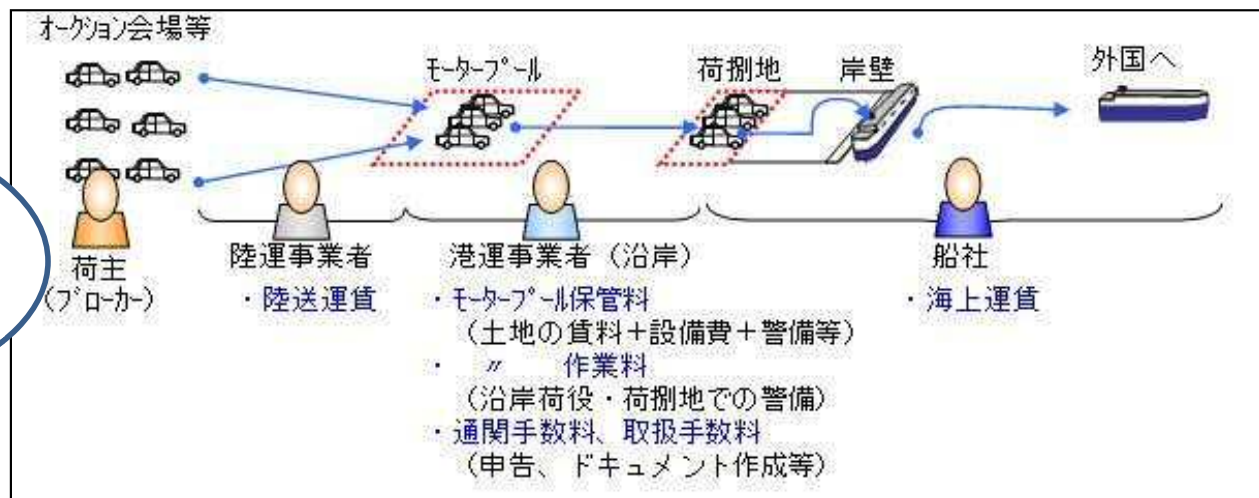
注：乗用車の台数について、H13からH16年は中古車台数込み、H17からH25は中古車台数を差し引いた数  
出典：貿易統計より作成

年間約67億円の  
経済波及効果

自動車船1隻あたりの  
経済波及効果は  
約2,640万円！



## ◆自動車(中古車)輸出の主な流れ



# 東扇島総合物流拠点地区



- 川崎港コンテナターミナル背後地（約23ha）を「東扇島総合物流拠点地区」と位置付け、コンテナターミナルと近接している特色を最大限に活かした高機能物流拠点の形成を図っています。
- 平成19年度に公募を実施した第1期地区に4企業、平成22年度に公募を実施した第2期地区に5企業が事業を展開しています。また、同地区の雇用者数は約2,800人に達し、市内の雇用創出にも貢献しております。

## 第1期地区進出企業

事業者：株式会社ヨコロジ  
 事業内容：中古自動車輸出  
 事業開始：平成21年7月  
 延床面積：約16,000㎡

事業者：株式会社ニチレイロジグループ本社  
 事業内容：冷凍食品等の輸入・集配  
 事業開始：平成23年2月  
 延床面積：約36,000㎡

事業者：POSCO-JEPC株式会社  
 事業内容：鋼材の輸入・加工  
 事業開始：平成20年9月  
 延床面積：約13,000㎡

事業者：山九株式会社  
 事業内容：雑貨・食品等の輸出入・集配  
 事業開始：平成22年1月  
 延床面積：約110,000㎡

## 第2期地区進出企業

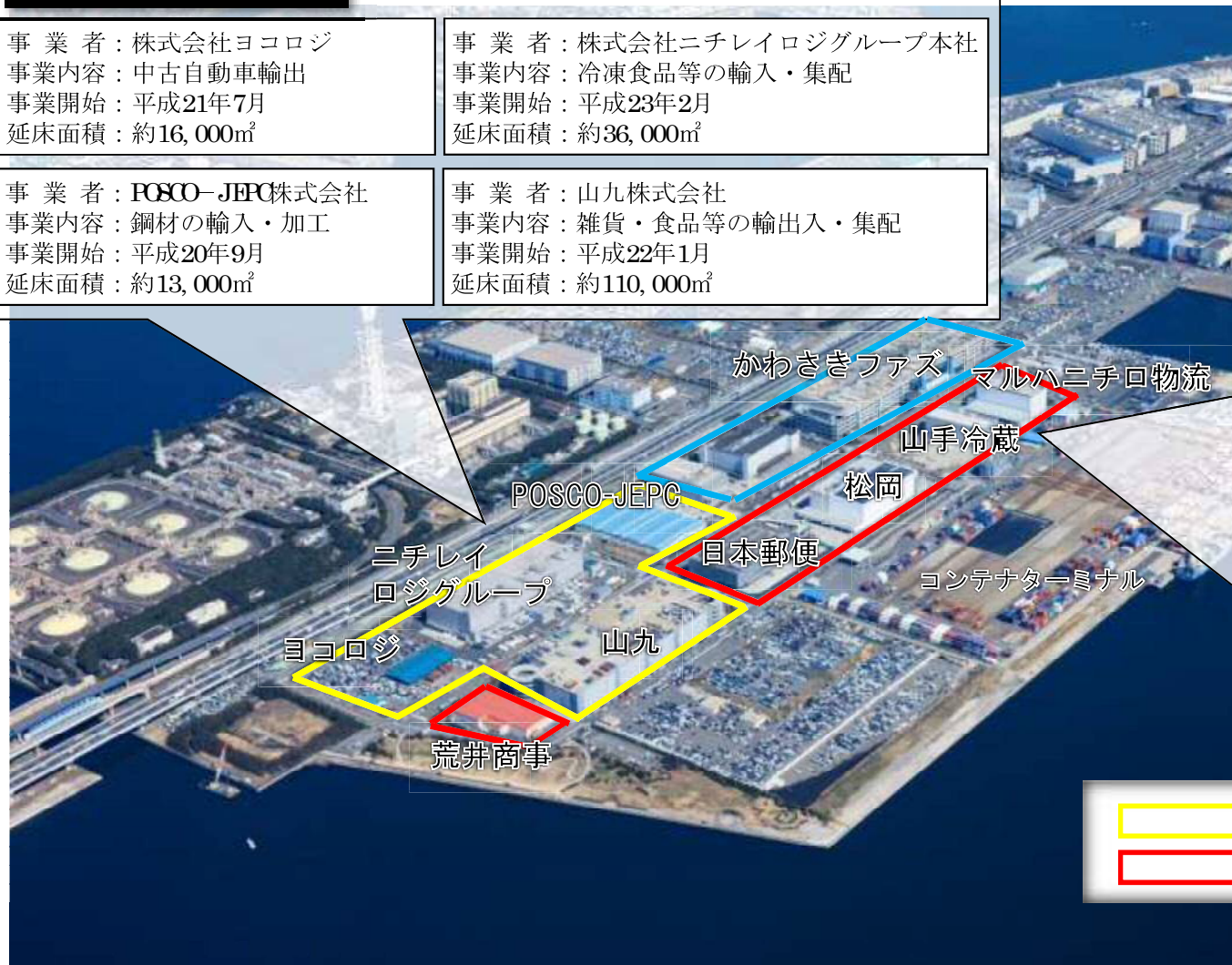
事業者：株式会社マルハニチロ物流  
 事業内容：冷凍食品等の輸入・集配  
 事業開始：平成26年2月  
 延床面積：約23,000㎡

事業者：山手冷蔵株式会社  
 事業内容：冷凍食品等の輸入・集配  
 事業開始：平成25年5月  
 延床面積：約20,000㎡

事業者：株式会社松岡  
 事業内容：冷凍食品等の輸入・集配  
 事業開始：平成25年2月  
 延床面積：約52,000㎡

事業者：日本郵便株式会社  
 事業内容：国際郵便・国内郵便  
 事業開始：平成25年5月  
 延床面積：約55,000㎡

事業者：荒井商事株式会社  
 事業内容：中古自動車オークション・輸出  
 事業開始：平成23年4月  
 延床面積：約10,000㎡

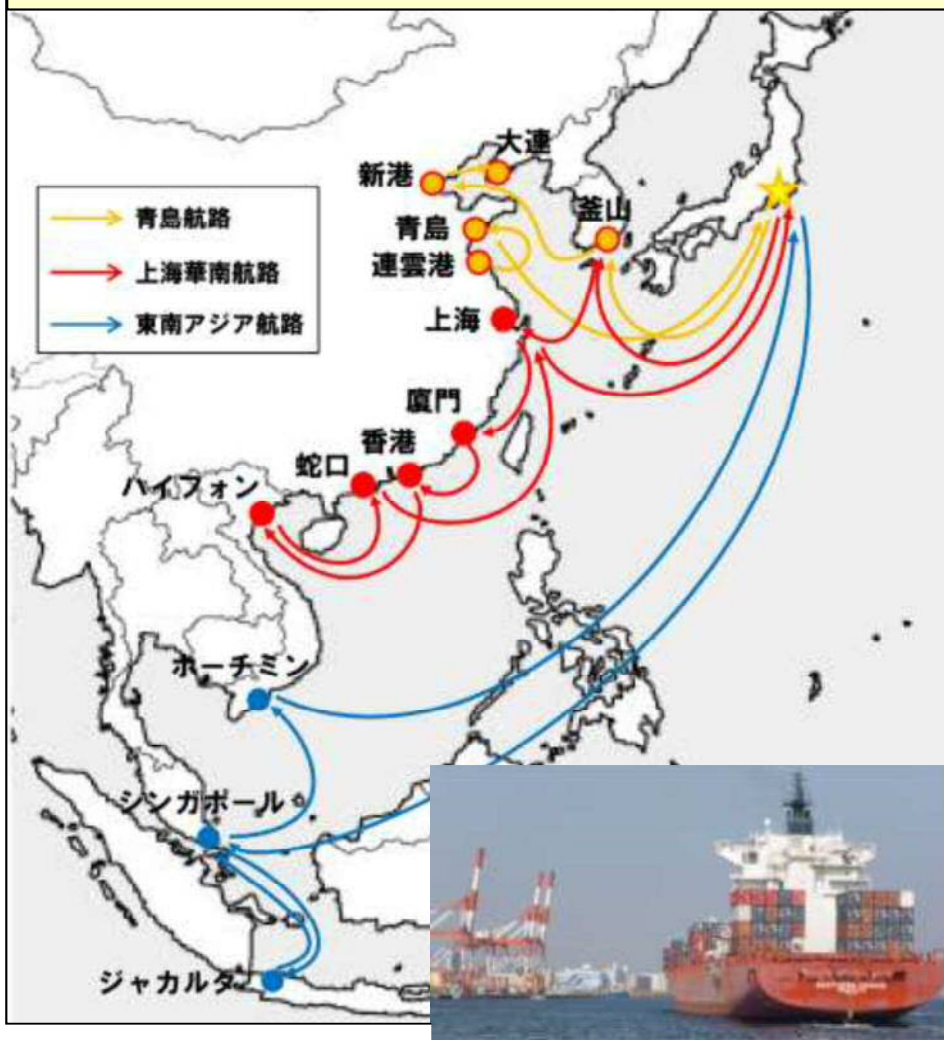


# 新規航路の開設とコンテナ貨物取扱量の増加



- 川崎港の振興、発展のため、国内外の荷主や船社に対して積極的な誘致活動を行っています。
- 平成24年5月に青島港との中国航路が開設。さらに平成24年10月には上海港、平成25年3月には深セン港との航路も開設。現在この2航路は合併し、上海華南航路として運航中。

## 今後増大するアジアの輸入貨物の取扱拠点機能を担う



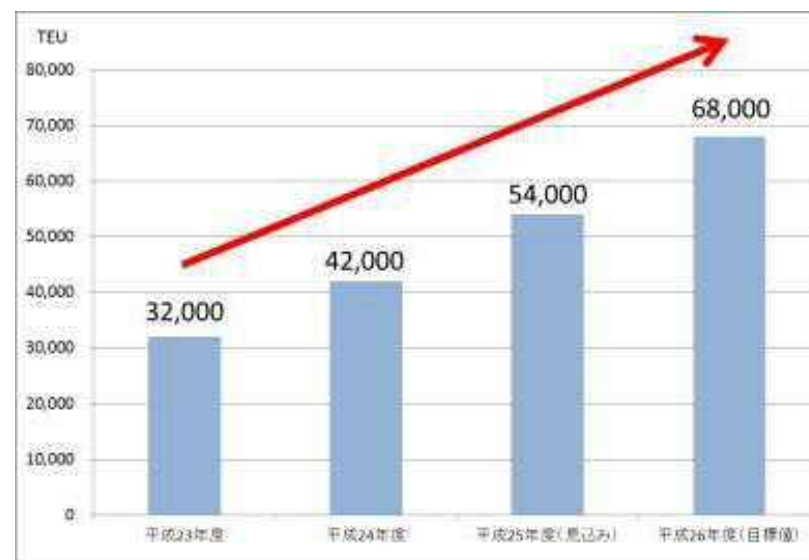
川崎港に初入港した大型コンテナ船



青島港との新規コンテナ定期航路開設歓迎式典



青島でのレセプション



コンテナ貨物量の推移

**平成24年度実績で約25億円～約27億円の経済波及効果  
(1TEUあたり約65,000円～約71,000円)**

# 京浜三港連携



## 三港連携の目的と取組課題

目的：京浜三港(東京港、川崎港、横浜港)の国際競争力の強化

取組課題：(平成20年3月21日基本合意書)

①	港湾コスト低減による国際競争力の強化	④	東京湾全体を視野に入れた合理的かつ効果的な、施設及び機能の配置
②	港湾利用手続きの統一化、簡素化による利便性の向上	⑤	環境対策、水上交通網形成、震災対策など広域的課題への対応
③	内貿振興、内陸部の物流体系を踏まえた国内ハブ機能の強化	⑥	国制度の改善、国からの重点投資の確保

## これまでの取組

- [体制]
  - 京浜港広域連携推進会議の設置 (平成20年9月)
  - 京浜港連携協議会の設置 (平成21年12月)
- [ポートセールス]
  - 首長によるトップセールスの実施
  - 京浜港利用促進セミナーの開催
- [施策]
  - 京浜三港と八戸港の連携に関する協定 (平成21年6月)
  - 京浜三港と仙台塩釜港の連携に関する協定 (平成23年1月)
  - はしけ輸送の拡大
  - コンテナ船入港料の一元化
  - コンテナ貨物補助制度の実施 (平成23年11月～)  
(コンテナ貨物の新規取扱い、取扱量の増加、海外諸港からの転換等に対する補助)
  - 国際コンテナ戦略港湾京浜港を活用した地域再生計画 (平成24年6月～) (地域再生支援利子補給金 5社利用)
- [共同ビジョン]
  - 「京浜港共同ビジョン」公表 (平成22年2月10日)
- [国際戦略港湾]
  - 「国際コンテナ戦略港湾」に京浜港を選定 (平成22年8月6日)
  - 「特例港湾運営会社」指定 (平成26年1月8日)
- [総合計画]
  - 「京浜港の総合的な計画」公表 (平成23年9月9日)

## 今後の取組

- [経営統合]
  - 京浜三港の特例港湾運営会社の経営統合のあり方の検討
- [施策]
  - 三港連携による貨物集荷策の充実化
  - 横浜川崎区の強制水先の規制緩和
- [国際戦略港湾]
  - 「国際コンテナ戦略港湾」計画書に基づく施設・機能の強化
- [総合計画]
  - 「京浜港の総合的な計画」に基づく各港の港湾計画の改訂 (平成26年度中予定)



# コンテナターミナルの今後の運営手法

川崎港コンテナターミナルの段階的民営化 ⇒ 国際コンテナ戦略港湾としての国際競争力の強化 = 市域経済の活性化と市民生活の安定

## 基本方針＜平成25年1月策定＞

- 川崎港コンテナターミナルの運営について、**段階的な民営化**を図る。
  - 第一段階：指定管理者制度の導入
  - 第二段階：港湾法に基づく貸付制度の導入
- 既存の出資法人を活用した特例港湾運営会社の指定を目指す。
- 川崎港の特徴を活かした港湾経営

## 第一段階＜平成26年4月～＞

川崎臨港倉庫埠頭㈱  
(本市出資法人)の活用

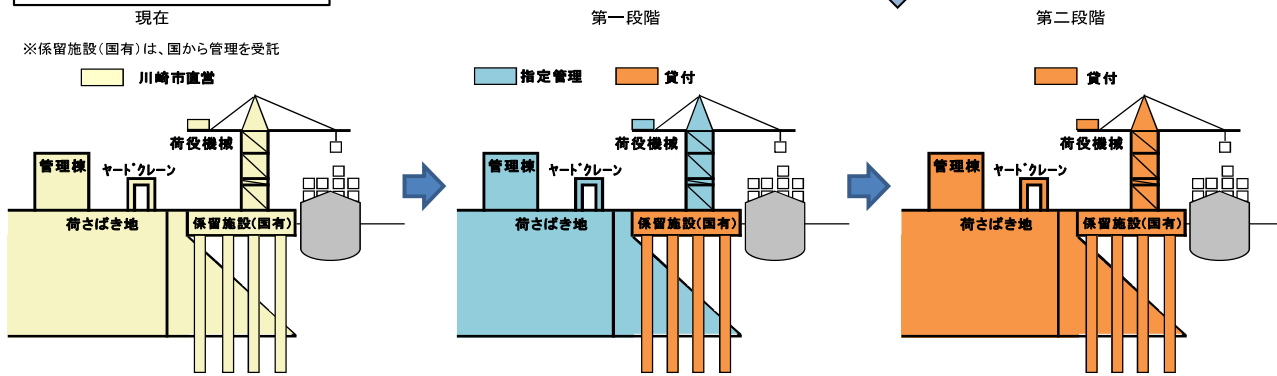
- 指定管理者制度の導入(指定期間:H26.4.1~H29.3.31)  
業務:ターミナル内港湾施設利用許可、使用料徴収、保守点検、小規模修繕等
- 特例港湾運営会社の指定による貸付制度の一部導入(国有岸壁)  
H25.9.9 川崎臨港倉庫埠頭㈱、申請書を国に提出(9.10受理)  
H26.1.8 国土交通大臣から特例港湾運営会社の指定を受ける。

## 第二段階(移行に向けた課題)

○京浜三港の特例  
港湾運営会社の  
経営統合のあり方

○コンテナ貨物量増  
⇒川崎臨港倉庫埠頭㈱  
を中心に官民一体となっ  
たポートセールスの推進  
など

## 段階的民営化のイメージ



京浜港の実態の反映や各港の強みを活かしながら、京浜港として国際競争力を強化できる体制の構築

## 市の施策

- 新規航路の誘致(中国・東南アジア)
- 日本最大の東扇島の冷凍冷蔵倉庫群の集積の活用
- はしけ輸送の拡充  
(東京港・横浜港の基幹航路との輸送効率化)
- オフドック機能の拡充  
(高機能/パンプール・シャーシープールの活用)
- 国の支援策の活用

## 川崎港コンテナターミナル段階的民営化スケジュール

年度	24	25	26	27	28
国	●9/12埠頭群の区分の指定 特例運営会社の申請期間	●9/11特例港湾運営会社の申請期限	●特例港湾運営会社指定	●国有岸壁貸付	●港湾運営会社
川崎臨港倉庫埠頭㈱		●特例港湾運営会社申請(9/9) ●定款変更(6/24、CT管理運営業務追加・商号変更) ★指定管理者申請	★運営開始(国有岸壁部分) ★運営開始(所有財産:コンテナヤード、ガントリークレーン等)		★特例港湾運営会社の指定の失効(区分の指定から4年)
川崎市	★基本方針策定 ★実施方針策定	★民間活用推進委員会(指定管理者の決定、7/11)	★協定書締結 ★指定管理者の指定(議会) ★特例港湾運営会社指定同意	★事業実施・モニタリング(市&指定管理者)	★埠頭会社の経営統合(京浜三港の総合的な計画での予定)
三港調整		●統合に向けた検討[京浜港5→6者会議 三港の特例港湾運営会社の統合(時期・形態等、詳細は未定) 東京都港湾局、横浜市港湾局、川崎市港湾局、東京港埠頭㈱、横浜港埠頭㈱、川崎臨港倉庫埠頭㈱]			港湾運営会社

## 国の動向

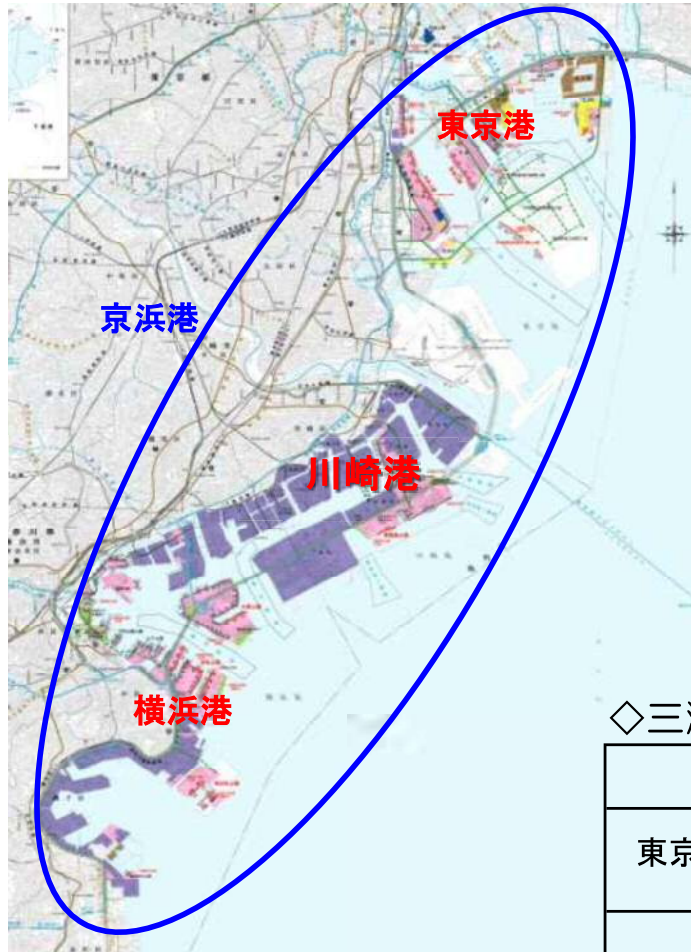
「国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会  
最終とりまとめ」(H25.1.20)  
施策の3本の柱→「集貨」「創貨」「競争力強化」

- コスト低減(施設を国・自治体が低廉な価格で貸付)
- 利便性向上(渋滞緩和、IT活用、ゲートオープン時間拡大)
- 船の大型化、貨物量増への対応(高規格ターミナルの整備)
- 戦略的港湾運営(国の出資)

# 港湾計画の改訂



京浜港の総合的な計画をベースとして  
平成26年度京浜三港が同時改訂



・三港同時改訂は我が国初の取り組みであり、三港による調整と連携した対応が不可欠。

・臨海部の将来を含めた地域経済の動向を的確に把握し、港湾を取り巻く様々な情勢の変化に対応する。

・羽田空港の再拡張・国際化や京浜三港の広域連携強化などの周辺動向を適切に反映させる必要がある。



- 川崎港港湾計画検討委員会
- 川崎港船舶航行安全対策検討委員会

学識経験者、港湾関係者、関係官庁等で構成。  
川崎港港湾計画改訂案について専門的見地から検討。  
パブリックコメントを経て、川崎港港湾審議会へ付議。

◇三港同時改訂のスケジュール

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
東京港	●都港審 策定委員会	●都港審 ●パブコメ	●同時改訂 ●都港審
川崎港	●地港審 策定委員会	●パブコメ ●地港審	●地港審
横浜港	●地港審●地港審 策定委員会	●地港審 ●パブコメ	●地港審

← 全3回程度 / 全4回程度 →

交通政策審議会

# 臨港道路東扇島水江町線



## 事業概要

- ・ 整備箇所：川崎港 東扇島～水江町
- ・ 整備施設：臨港道路 延長約4.5km
- ・ 事業期間：H21年度～H30年度供用開始予定
- ・ 総事業費：約540億円
- ・ 事業主体：国土交通省 関東地方整備局
- ・ 道路規格：第4種第1級 往復4車線

## 整備スケジュール

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
調査・設計	[Green bar]										
施工							[Red bar]				
用地取得	[Brown bar]	[Brown bar]	[Brown bar]	[Brown bar]							
環境影響評価	[Blue bar]					▼手続き					

- ・ 平成26年度  
調査設計、環境影響評価手続き、用地補償、下部工等を実施予定

## 東扇島内臨港道路の改良

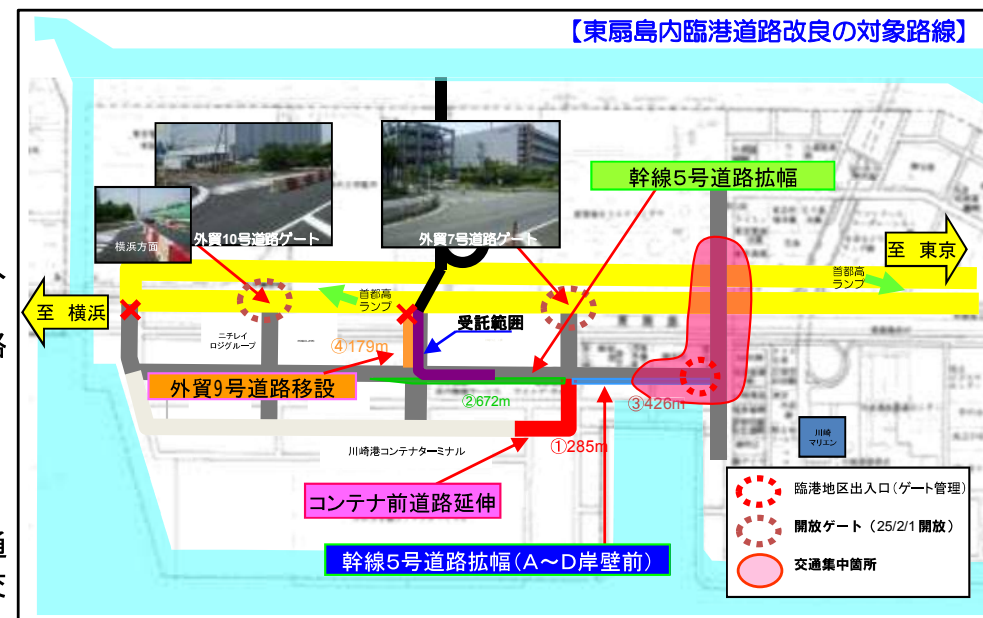
- ・ 臨港道路東扇島水江町線の整備及び東扇島総合物流拠点地区への企業進出に伴い、コンテナ貨物や交通量増加に対応した円滑な交通動線の確保を図るため、東扇島内臨港道路の改良(既設臨港道路の拡幅等、コンテナ前道路の延伸)を行う。

## 東扇島内道路の渋滞対策

- ・ これまで、臨港道路と国道357号線との間のゲートを開放し島内交通の分散を図りましたが、引き続き、渋滞解消に向けて道路管理者や交通管理者と調整を行う。



【東扇島水江町線供用後のイメージ】





# 千鳥町再整備計画



千鳥町地区の公共埠頭は、大部分の施設が建設後40年以上が経過し、施設の老朽化や取扱貨物の変化に伴う埠頭機能の陳腐化により、埠頭の再整備が求められています。

このため、平成18年11月に「川崎港千鳥町再整備の基本的な考え方」、平成22年8月に「川崎港千鳥町再整備計画」を策定し、公共埠頭機能の再構築を図っています。

## 施設配置計画にあたっての視点

- (1) 東扇島との機能分担によるバラ貨物拠点の形成
- (2) 荷姿の同じ貨物を集約
- (3) 将来動向への対応

## 整備内容

- ① 岸壁の改修
- ② 上屋の改良
- ③ 上屋の撤去
- ④ 倉庫の再配置・高度化
- ⑤ 共同事務所等の高度化
- ⑥ 産業廃棄物処理施設用地の転換
- ⑦ 鉄道敷の一部撤去・改良
- ⑧ ふ頭内道路の改良
- ⑨ 荷捌地の補修
- ⑩ 緑地の整備
- ⑪ 自然エネルギーの活用
- ⑫ 駐車場等の整備
- ⑬ 岸壁の耐震化
- ⑭ 緑地の整備

## 現在整備中の事業

- 千鳥町2号及び7号岸壁改修工事
- 千鳥町道路補修工事
- 上屋補修工事 等

## 目指すべき施設配置計画



## 倉庫の再配置・高度化のスケジュール

		H26年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
JA全農	庁内手続き			★不動産評価委員会									
	議会							★採決					
	関連工事等			関連施設整備詳細設計委託				土地売買契約	土地引渡し	関連施設整備工事		★供用開始	

※JA全農たまご(株)については、現在、土地交換に向け調整中

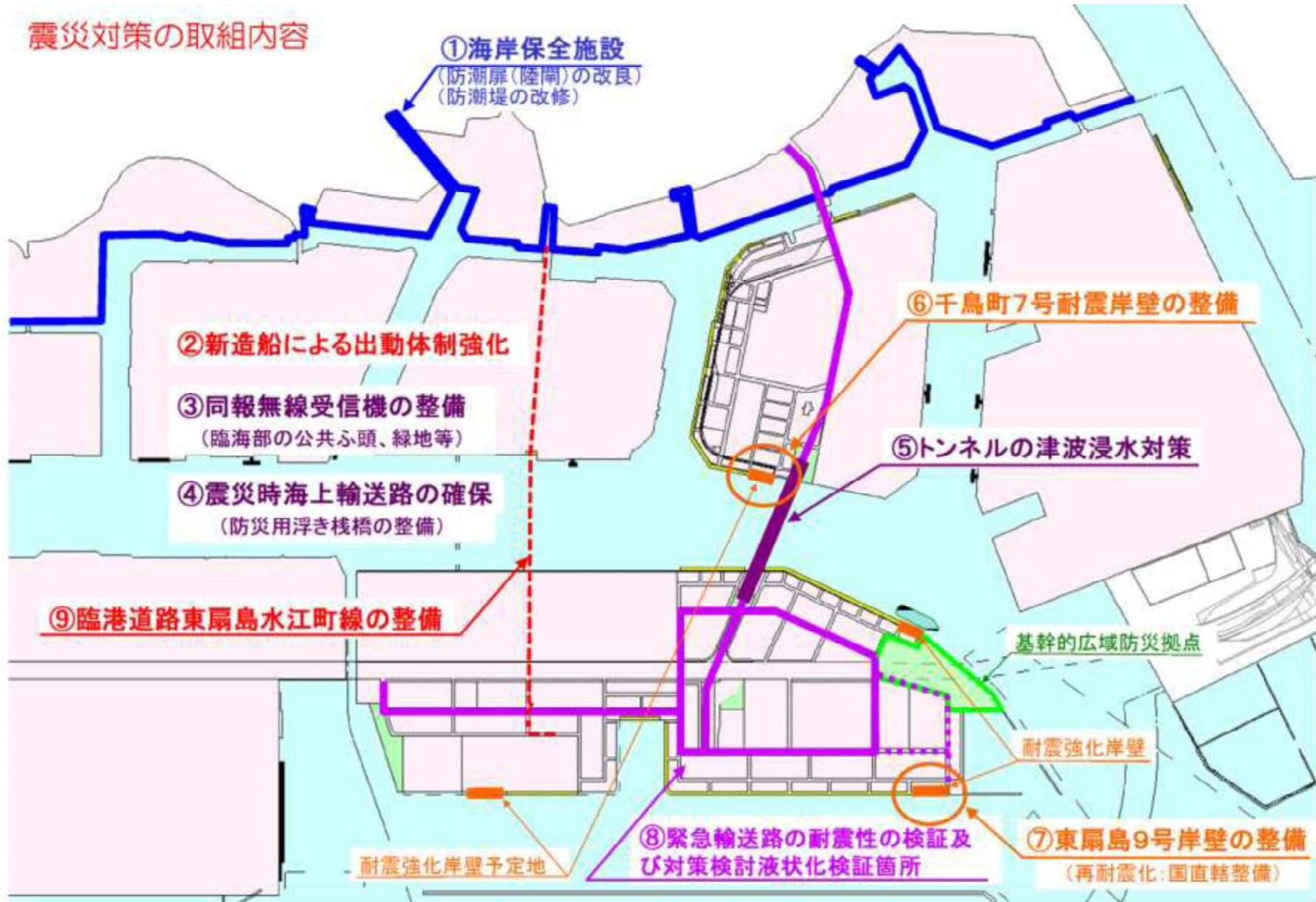
# その他の施設整備事業



# 震災への対応



## 震災対策の取組内容



# 東扇島東公園などの市民利用状況等について



## 1. 東扇島東公園の概要

平成20年4月に開場した東扇島東公園（15.8ha）は、東京ドーム3個を超える広大なスペースを有する川崎市臨海部の潮風と緑の憩いの場として注目を集めています。



## 2. 東扇島東公園の状況

・大盛況の人工海浜



・ゴールデンウィーク中は全て予約済みのバーベキュー場と満車状態の駐車場



ロックコンサート（BAYCAMP） デュアスロンランブル トライアスロン



## 3. 今後のイベント予定

- ・大規模音楽イベント（DOMMUNE）（7月12日 来場者見込 8,000人）
- ・ロックコンサート（BAYCAMP）（9月6日～9月7日 来場者見込 8,000人）
- ・横浜レゲエ祭 in 東扇島（9月7日 来場者見込 8,000人）
- ・川崎みなと祭り（10月予定 来場見込 200,000人）
- ・川崎港トライアスロン大会 in 東扇島（10月 来場者見込 1,000人）
- ・川崎マリンエンデューロ（10月 来場者見込 1,000人）
- ・カーフマンジャパン・デュアスロン東扇島大会（2月 来場者見込 1,000人）
- ・東扇島東公園（首都圏基幹的広域防災拠点）での訓練（6月・12月）

### 川崎マリエンの利用促進について

**平成26年度の取り組み予定**

- 市民と港を結ぶ拠点として～  
テニスコートの改修、ニュースポーツの紹介・体験会、市民・近隣企業向けのバドミントン、テニス、体かづくり講習会の実施、体育室/レコート2画化
- ビーチスポーツの拠点として～  
ビーチ/レコートの4画化、ビーチテニス等マリンスポーツ等さまざまなマリンスポーツの実施、オリンピック選手の育成
- 川崎港の観光拠点として～  
川崎市観光協会との連携、日本食量産産への登録、望遠鏡の無料化、ドラフ・CM撮影のさらなる誘致、充電式兼用EV車充電器の導入

展望室からの工場見学

川崎みなと祭りの様子

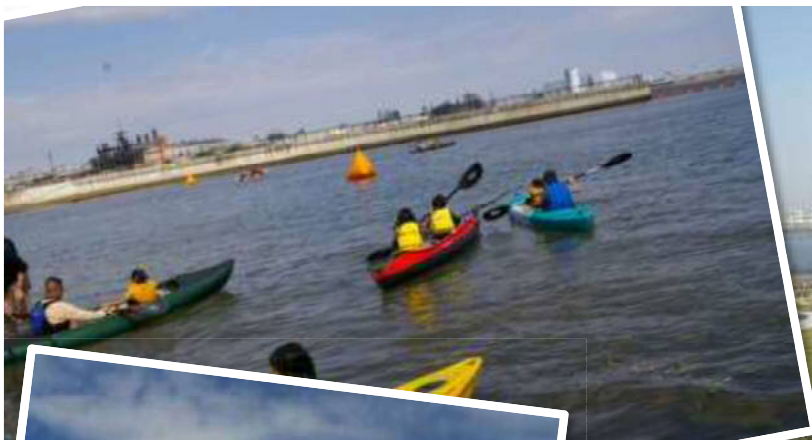
ビーチ/レコ-川崎市長杯

充電式兼用EV車充電器の導入

ニュースポーツ  
(カローリング)

**今後のイベント等の予定**

- ・ジャパンテフビーチバレーボールカップ(7月26日)
- ・全日本ビーチバレー大学男女選手権大会(8月7日～8月10日)
- ・JBVマア-2014ビーチバレー川崎市長杯(10月10日～12日)



ご清聴ありがとうございました。  
今後とも川崎港を  
よろしく申し上げます！



# END

## 平成26年度の主な事業及び予算

港湾局

## 1 港湾の防災・減災対策の推進

(1) 予算額 1, 147, 416 千円

(2) 概要 千鳥町7号岸壁及び東扇島9号岸壁の耐震改修、防災行政無線の整備、移動式浮棧橋の整備、川崎港海底トンネルの防潮施設の整備等

## 2 コンテナターミナルの利用促進・活性化

(1) 予算額 838, 108 千円

(2) 概要 ポートセールスの推進、川崎港利用促進コンテナ貨物補助制度の実施、コンテナターミナル運営の指定管理者への移行、コンテナ1号岸壁の延伸に向けた設計の実施等

## 3 千鳥町再整備の推進

(1) 予算額 3, 206, 858 千円

(2) 概要 荷さばき地の整備工事、立体モータープールの整備に向けた設計等

## 4 臨港道路東扇島水江町線整備の推進

(1) 予算額 2, 875, 441 千円

(2) 概要 臨港道路東扇島水江町線直轄工事の推進、東扇島内臨港道路の拡幅工事等

## 5 魅力ある緑地・親水空間の形成

(1) 予算額 260, 984 千円

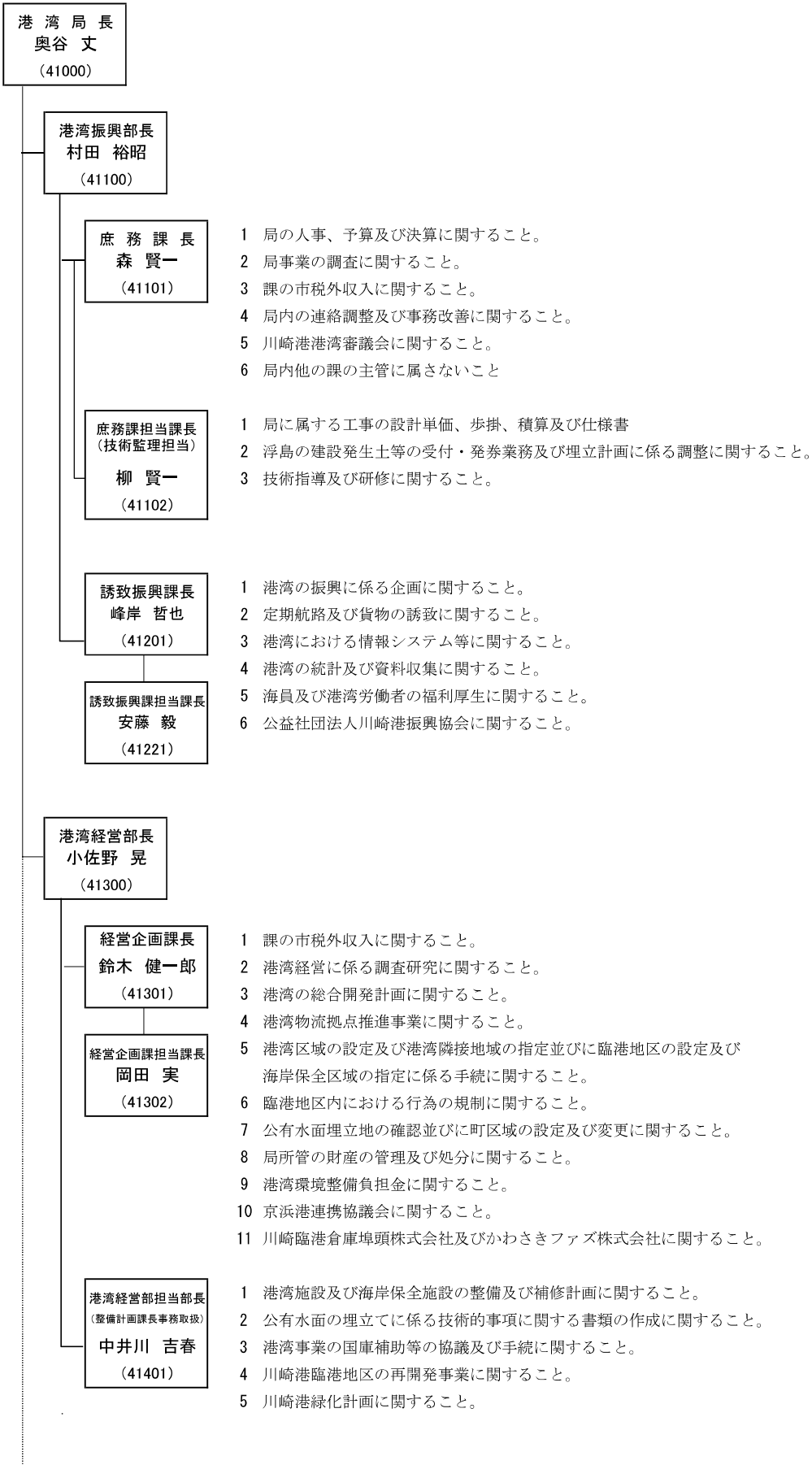
(2) 概要 東扇島東公園の維持管理、川崎マリエン内ビーチバレー場の維持整備等

## 6 浮島2期廃棄物埋立事業の推進

(1) 予算額 1, 764, 548 千円

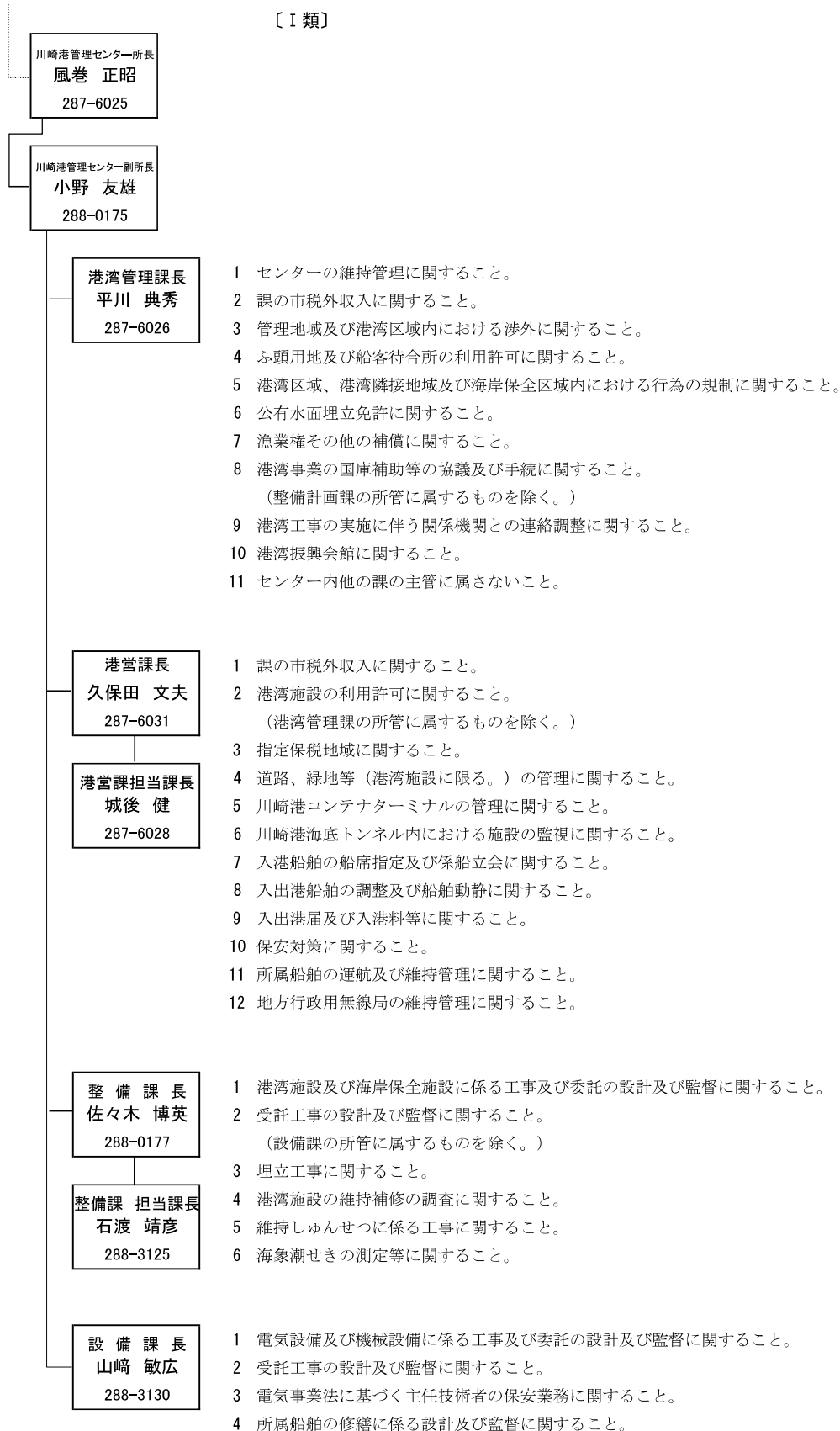
(2) 概要 浮島2期埋立護岸の築造、補修、関連管理工事、船舶航行安全対策等

# 港湾局組織図（平成26年4月1日現在）



# 港湾局組織図（平成26年4月1日現在）

## 〔I類〕





## 港湾局理事者名簿

平成26年4月1日現在

No	役 職 名	氏 名	ふ り が な
1	港湾局長	奥 谷 丈	おくたに たけし
2	港湾振興部長	村 田 裕 昭	むらた ひろあき
3	港湾経営部長	小 佐 野 晃	こさの あきら
4	港湾経営担当部長 (整備計画課長事務取扱)	中 井 川 吉 春	なかいがわ よしはる
5	川崎港管理センター所長	風 卷 正 昭	かざまき まさあき
6	川崎港管理センター副所長	小 野 友 雄	おの ともお
7	港湾振興部	庶務課長	森 賢 一
8	港湾振興部	庶務課 担当課長 (技術監理担当)	柳 賢 一
9	港湾振興部	誘致振興課長	峰 岸 哲 也
10	港湾振興部	誘致振興課 担当課長	安 藤 毅
11	港湾経営部	経営企画課長	鈴木 健 一 郎
12	港湾経営部	経営企画課 担当課長	岡 田 実
13	川崎港管理センター	港湾管理課長	平 川 典 秀
14	川崎港管理センター	港営課長	久 保 田 文 夫
15	川崎港管理センター	港営課 担当課長	城 後 健
16	川崎港管理センター	整備課長	佐々木 博英
17	川崎港管理センター	整備課 担当課長	石 渡 靖 彦
18	川崎港管理センター	設備課長	山 崎 敏 広

※網掛けになっている者が今回出席している理事者です。

### 議会担当者

	港湾振興部	庶務課庶務係長	加 島 晃	かしま あきら
	港湾振興部	庶務課庶務係	小 倉 健 一 郎	おぐら けんいちろう
	港湾振興部	庶務課庶務係	小 澤 篤 史	おざわ あつし